

令和2年度

4号

トトモニ

しおじり協働通信
令和2年度

ご自由にお持ちください

TAKE
FREE

4号

しおじり協働通信トトモニ 令和2年度 第4号

TAKE
FREE



特集 「あの人とともに」

Kobu. Project

0.5という選択肢を増やす

皆さんの思いや活動を応援します！

まちづくりチャレンジ事業補助制度

市民のみなさんへ お知らせ

まちづくりチャレンジ事業補助制度

あなたのチャレンジを応援します！塩尻のまちをもっと住みよく、楽しくするための公益活動に対して、塩尻市では補助金を交付します。令和3年度の募集受付期間は一次募集を4月に、二次募集（トライアルのみ）を9月に予定しています。塩尻を元気にする素敵な活動の参加をお待ちしています！

○●◇◆□■ 選べる“チャレンジのカタチ” ■□◆◇●○

体験型
トライアル事業

「何か始めてみよう」という団体の皆さんに、まちづくりへの参加のきっかけを得てもらうための事業です。事業の実施を通して、活動をしていくためのネットワークづくりを行うとともに、市民の皆さんに身近な課題を提案し、共有を図ります。

発展型
ステップアップ事業

「得意分野を生かし、新たなまちづくりの担い手を目指そう」という、団体の自立や新たな事業の確立を目指すための事業です。計画的に事業展開を行いながら、3年の間に段階的にステップアップを図ります。

事業	体験型： トライアル事業	発展型：ステップアップ事業		
		1年目	2年目	3年目
達成目標	ネットワークづくり、身近な課題の共有や提案	団体設立のための環境整備、事業の実施	団体の発展のための環境整備、事業の発展	協働事業（公共を担う事業）実施に向けた事業展開
補助限度額	10万円	20万円	20万円	40万円
対象経費の補助率	10/10以内	9/10以内	8/10以内	7/10以内
応募受付	4月1日から13日まで 9月2日から14日まで	4月1日から13日まで		
採択基準	○ 目的が明確か ○ 公益性があるか	○ 目的が明確か ○ 自立しているか、あるいは自立を目指しているか	○ 公益性があるか	
研修・交流会等への参加（必修事項）	◆ 団体のスキルアップのための研修会への参加 ◆ 活動の成果を広く知ってもらうための交流会などへの参加 … ● まちづくり交流会 ● 中間報告 ● 実績報告会			
補助対象外	◆ 社会や、地域のどのような問題を解決するための活動なのか不明確なもの ◆ 公益性がない活動・事業…趣味やサークルの活動、個人や団体の利益のための活動、参加者が少数に限定される活動、宗教・政治活動を目的とした活動 ◆ 自立を目指さない団体・事業…会則を定めていないもの、会費を徴収していないもの、財政計画がきちんとしていないもの、食糧費・通常の事務費・備品の比率が6割以上のもの			

※本制度は、塩尻市補助金等交付規則および塩尻市まちづくりチャレンジ事業補助金交付要綱に基づいて実施しています。

本誌に関する
お問合せ先

発行 塩尻市市民交流センター 交流支援課

〒399-0736 塩尻市大門一番町12-2 TEL:0263-53-3350 (内線4221)

E-mail:collabo@city.shiojiri.lg.jp http://enpark.info/

編集 特定非営利活動法人 えんのわ

〒399-0736 塩尻市大門一番町12-2 TEL/FAX:0263-54-3320

E-mail:ennowa@hotmail.co.jp http://ennowa.naganoblog.jp/

0.5という選択肢を増やす
Kobu. Project

(コブプロジェクト)

「なにか新しいことを始めたいときに、今の仕事を辞めて始めるのか、それとも、諦めるのかという1か0という選択肢だけではなく、今の仕事をしながら余暇の時間を活用して、できることから始めてみる0.5という選択肢もあります」

そう語るのは、Kobu. Project代表の岩井美咲さん。岩井さんは東京に住んでいた頃から、シビック・イノベーション拠点「スナバ」の立ち上げと運営に関わり、そのまま塩尻市に移住しました。そして、昨年10月にKobu. Projectを始めました。きっかけはこだわりの豆と焙煎方法でコーヒーを提供したいと思いついたこと。でも、自分でやるのかどうかを考えていたところ、西野有香さんと出会いま

した。西野さんは、カフェでのアルバイト経験があり、コーヒーをきっかけにして地域や社会とつながってみたいと考えていました。「会社を辞めようか悩んでいました」と西野さん。岩井さんと話をするなかで、とりあえず今の状況で、できることからやってみようということになり、Kobu. Projectによる伴走支援が始まりました。「まずは、有香ちゃんにしかで



きないことは何かを考えよう」と岩井さん。カフェはたくさんあります。それにも関わらず、なぜ新しく始める必要があるのか。そこを一緒に深掘りしていきました。約3か月かけて出てきたのは「読点珈琲」というコンセプト。「日常に、自らの意志で読点(、)を打って、一息ついて欲しい」という想いが込められています。忙しい日々を送っている人たちに立ち

止まって、日々を振り返ってもらいたい。それが、前向きになる原動力となるんです」と西野さんが語ってくれました。

昨年12月には、大門マルシェの一環で、読点珈琲を出店。50名を超えるお客さんが来ました。そして、コーヒーをいれている間に、その人にとつての読点を考えてもらう。朝焼けだったり、子どもの寝顔だったり、それぞれの人なりの読点が見つかりました。西野さ

んは、「これからもコーヒーを触媒にして、読点という考えを広げていきたい」と意気込んでいました。

現在は、デザインの勉強をしている御厨ありさんと、建築にも詳しい地域おこし協力隊の岩佐岳仙さんも一緒に伴走支援を行っています。「みんなで考えを深めあつていくのが楽しいし、悩みながら考えを深掘りする中で、ふっとビジョンが見えた瞬間、個人やチー

ムが変わる瞬間が好きです」と岩井さん。当面は、読点珈琲を支援していきませんが、その後は新しいプロジェクトの支援もしていきたいとのことでした。

あなたが抱えているモヤモヤとしたやる気を鼓舞して、支援してくれるのがKobu. Projectです。社会や地域のために何かを始めてみたいけどどうしたらいいかわからないという人は、ぜひ岩井さんに相談してみてください。



お気軽にご連絡ください

イベントを企画している方や企業等で読点珈琲に出店してほしいというご依頼やコラボレーションをしたい方

ご連絡は岩井美咲さんまで

✉ kobu.productions2020@gmail.com

読点珈琲Instagram

www.instagram.com/toten_coffee/

「フリーコミュニティスペース」をご活用ください!

「フリーコミュニティスペース」は、市民や地域の利益（公益）につながる活動を行っている市民団体のためのスペースです。団体登録することで、スペースを予約し、優先して利用することができます。活動するスペースにお困りの市民活動団体の皆さんは、ぜひご活用ください。

●場所：市民交流センター 2階

※予約がない場合、一般利用者に開放する場合があります。

※利用方法などの詳細は、交流支援課にお問い合わせください。

